

한통련 뉴스레터

제68호

発行:在日韓国民主統一連合（韓統連）

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。（メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください）

정세 情勢

●なし崩し的に進む韓米日3カ国軍事協力の強化…韓米日軍事同盟への道を許してはならない



7月東海上で実施された韓米日3カ国共同訓練

米原子力空母が参加し3カ国軍事訓練

韓米日3カ国は10月9、10の両日に東海公海上で、大量破壊兵器の拡散を防ぐための海上訓練と海賊対策の訓練を実施した。韓国海軍が発表した。3カ国による海上阻止訓練は2016年以来7年ぶり、海賊対処訓練は17年以来6年ぶりにそれぞれ再開した。

韓国海軍によると、韓米日は6月のアジア安全保障会議（シャングリラ会合）を機に開催した国防相会談で3カ国共同訓練の再開と定例化に合意し、8月の3カ国首脳会談でも北朝鮮（※正しくは朝鮮、以下同じ）の核・ミサイル脅威に対応するため韓米日の安全保障協力を強化することで一致。これを受け今回の共同訓練が実施された。

訓練には韓国海軍のイージス駆逐艦「栗谷李珥」と補給艦「天地」、米海軍の原子力空母「ロナルド・レーガン」と巡洋艦

「アンティータム」「ロバート・スモールズ」、イージス駆逐艦「シャープ」、日本の海上自衛隊の護衛艦「ひゅうが」などが参加した。

3カ国指揮官会議も開催

訓練に先立つ8日、金明秀（キム・ミョンソ）海軍作戦司令官と米海軍のカール・トーマス第7艦隊司令官、海上自衛隊の齋藤聡自衛艦隊司令官はロナルド・レーガン艦内で海上指揮官会議を開いた。北朝鮮の水中からの威嚇と核・ミサイル脅威に対する韓米日の対応と、海洋安保協力の強化を話し合った。韓国海軍は「韓米日の首脳が8月に合意した、北のミサイル情報をリアルタイムで共有する仕組みの年内稼働と3カ国訓練の多年度計画の策定が進んでおり、海上指揮官はこれを受けた措置についても意見を交わした」と伝えた。

朝鮮、米原子力空母の寄港に反発

「ロナルド・レーガン」を中核とする第5空母打撃群が10月12日、韓国南東部・釜山に入港したことに對して、北朝鮮は反発し空母を直接攻撃できると威嚇した。朝鮮中央通信は13日付の論評で、「われわれの最も威力的で迅速な初打撃は、米国の追従勢力に対する『幻覚剤』として使う『拡大抑止』手段はもちろん、朝鮮半島とその周辺に巣窟を作った悪の本拠地にも加えられるだろう」と強調した。同通信は空母の釜山入港が「核戦争勃発が現

実になりつつあることを物語っている」とも言及した。なお、第5空母打撃群は第7艦隊に所属し、神奈川県横須賀市にある米海軍基地を母港とする。

なし崩し的に進む3カ国軍事協力

韓米日3カ国は尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権登場以後、昨年10月に2回、今年2月と7月に各1回、計4回、東海公海上で、対北朝鮮ミサイル発射を想定した情報共有・迎撃訓練を実施した。7月の共同訓練には、イージス駆逐艦「栗谷李珥」、米海軍のイージス駆逐艦「ジョン・フィン」、海上自衛隊のイージス護衛艦「まや」が参加した。

韓米日3カ国は4月3日から4日にかけては東海公海上で、対潜水艦訓練と捜索・救助訓練を実施。訓練には韓国海軍からイージス駆逐艦「栗谷李珥」、駆逐艦「崔瑩」「大祚栄」、軍需支援艦「昭陽」が、米海軍からは原子力空母「ニミッツ」とミサイル駆逐艦「ディケーター」「ウェイン・E・マイヤー」が、日本からは海上自衛隊の護衛艦「うみぎり」がそれぞれ参加した。韓米日が対潜水艦戦を想定した訓練を実施するのは昨年9月末以来。捜索・救助訓練は2008年に始まり2016年まで行われた後、中断されていた。国防부는、韓米日の安全保障協力を正常化する意味で7年ぶりに合同訓練を再開したと説明。

「米国主導の韓米日軍事協力の強化」に断固

反対の声を

8月18日にキャンプデービッドで開かれた韓米日首脳会談では、「3首脳は韓米日合同軍事演習の定例化でも合意した」が、それ以前から、特に尹政権登場以後、韓米日3カ国海上軍事訓練が頻繁に行われている。訓練の目的は△対ミサイル情報共有・迎撃訓練△大量破壊兵器拡散防止△海賊対策△対潜水艦訓練△捜索・救助訓練と多様だが、中心は朝鮮の核・ミサイルの高度化に対応するために、リアルタイムでのミサイル情報共有とそれに沿った迎撃態勢の確立にある。ミサイル迎撃能力を持つイージス艦の参加がそのことを示している。米国としては、米本土に到達する大陸間弾道ミサイル「火星」を保有する朝鮮のミサイル発射情報を、瞬時にかつ正確に把握することは急務の課題である。そのためには3カ国の軍事協力が欠かせない。

また、米国は3カ国の軍事協力の対象を朝鮮だけでなく、インド太平洋に拡大して中国も含めながら、アジア版NATO体制を企図している。それは一方で「韓米日軍事協力の強化＝韓米日軍事同盟化」から「韓米日軍事同盟構築」へと至る道を意味する。

韓米同盟と日米同盟を米国を軸に交差させる形でなし崩し的に進む韓米日の軍事協力、さらにはその強化。朝鮮半島とその周辺にとどまらずインド太平洋まで広がりながら、軍事緊張をつくりだす恐れのある「米国主導の韓米日軍事協力の強化」に断固反対の声をあげなければならない。

●ソウル江西区長補欠選挙で「共に民主党」圧勝…李代表「国政の失敗に対する厳重な審判」



当選の所感を述べる「共に民主党」の陳校薫候補

ソウル江西区長補欠選挙で「共に民主党」圧勝

韓国・ソウル市の江西区長選が10月11日に実施され、第一野党「共に民主党」の陳校薫（チン・ギョフン）候補が圧勝した。

中央選挙管理委員会によると、陳氏の得票率は56.52%で、与党「国民の力」候補の金泰佑（キム・テウ）前区長の39.37%を17.15ポイント上回った。正義党のクォン・スジョン候補が1.

83%、進歩党のクォン・ヘイン候補が1.38%、自由統一党のコ・ヨンイル候補が0.66%、緑色党のキム・ユリ候補が0.21%と集計された。投票率は48.7%だった。

金氏は文在寅（ムン・ジェイン）前政権時代、青瓦台（旧大統領府）の特別監察班員として監察もみ消しの疑惑を暴露した事件で、今年5月に有罪が確定。2022年から務めていた江西区長を失職したため、今回の選挙は補欠選挙として行われた。金氏は今年8月、光復節に合わせて行われた特別赦免（恩赦）の対象となり、出馬が可能となった。

李代表「国政の失敗に対する厳重な審判」

李在明（イ・ジェミョン）民主党代表はフェイスブックに「さらに謙虚に民意を尊重していきたい」とのタイトルで、「（選挙結果は）国政の失敗に対する厳重な審判」だとする立場を明らかにした。李代表は「民主党の勝利だとは考えない」「政治の覚醒と民生の回復を命ずる国民の厳しいムチ」だと強調。「一時与党だった民主党の安逸、加えて熾烈でなかったこと、相変わらずの不足をもう一度省察し、国民の公僕として民生、経済、安全、平和、民主主義の回復に死力を尽くす」と決意を示した。さらに「わたしたちの中の小さな差をこえて団結し、葛藤と分裂をこえて国民の底力を一つに集め、危機を克服し国家と国民のより良い未来をきり拓いていく」と述べた。

政府・与党「結果を厳重に受け入れる」

国民の力の劉相凡（ユ・サンボム）首席報道担当は「国民の力に対する江西区民と国民の皆様の厳しい叱責（しっせき）を重く受け止め、改革課題を迅速に進め、国民の目線に合う韓国をつくりあげる」とする声明を出し、選挙結果を受け入れた。少し遅れて大統領室は「結果を厳重に受け入れなければならない」とのコメントを出した。

民主党は院内外の反尹政権連帯闘争の拡大を…進歩政党は連帯連合を急げ

共に民主党は来年4月の総選挙を控えて実施された補欠選挙で圧勝する成果を上げた。江西区は伝統的に同党が優勢な地域ではあったが、総選挙の前哨戦の意味合いもあり、与野党が総力戦を展開していた。

この結果は、尹錫悦政権の反民主・反民生・反平和の悪政・失政と検察独裁に対する区民（さらには国民）の民意が、政府・与党への厳しい審判として示されたものだ。

特に、補欠選挙の原因をつくった金前区長を尹大統領が赦免し、さらには国民の力が大統領の意向を忖度（そんたく）し党候補として認定するという、独善と専横の政治手法を平然と展開し、区民を愚弄（ぐろう）したことに対する区民の怒りが噴出した。

「共に民主党」は李代表が述べたように、民主党の勝利ととらえるのではなく、あくまでも政府・与党に対する厳重な審判が示されたことを重視すべきであり、さらには、民意に従い尹政権により厳しく対抗していく姿勢が求められる。反対勢力を「反国家勢力」と罵倒し、民意を顧みず反省のない政府・与党に幻想を抱くべきではない。

進歩党は「政権審判の強烈な民意を確認した選挙だった」と評価しながら、「残念な結果は省察と跳躍の契機としたい」とする立場を明らかにした。政権審判の選挙構図のなかで審判票が民主党に流れ、進歩政党は存在感を示すことができなかった。実際、正義党と進歩党、緑色党の得票率を合算しても3.42%に過ぎず、総選挙を念頭に進歩政党の連帯・連合が至急の課題として改めて提起されたかっこうだ。（※自由統一党は極右政党）

李代表への逮捕状請求の却下により危機を乗り越え、国会人事聴聞会を途中退席した金杏（キム・ヘン）女性家族部長官候補を辞退に追い込み、今回の補欠選挙で圧勝した民主党は、総選挙に向けて大きく弾みをつけた。進歩民衆陣営は今回の選挙結果を謙虚に受け止め、早急に態勢を立て直し、11・11民衆総決起を成功させるために奮起しなければならない。

● 第9回尹錫悦政権糾弾集会を開催…尹政権退陣を要求



アピールする韓成祐委員長

「東京民主実践連帯（東民連）」は10月7日、都内の新宿駅西口地下広場で「第9回尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権糾弾集会」を開催。韓統連・韓青や在日同胞、ニューカマーの韓国人や日本人が有志で参加した。

東民連のペ・ウンミ代表が主催者あいさつ。「尹政権は洪範道（ホン・ボムド）将軍の像を撤去しようとするなど、独立運動を侮辱し、植民地支配を称賛している。決して許すことはできない。来年の国会議員総

選挙に必ず勝利し、尹政権を退陣させよう」と語った。韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「尹政権は海外の統一運動に韓国の青年たちが参加することも厳しく禁止しており、激しい怒りを覚える」とし、「在日同胞青年として退陣運動の先頭に立っていく」と強調した。韓統連の申久江（シン・クガン）氏は尹政権の人事惨事、公安弾圧を批判。インターネットメディア「日本のメディアが伝えない週刊韓国ニュース」の西田尚史氏は日本社会のあり方に怒りの声を上げた。演説の合間には韓国の民衆歌謡、闘争歌が歌われ、市民の注目を集めた。韓統連からの提起により、尹政権退陣、11.11民衆総決起成功を訴えるプラカード・アピールを実施した。

韓統連の李俊一（イ・チュニル）総務部長が閉会あいさつ。「韓米日軍事協力の推進、汚染水投棄の黙認、公安弾圧の強化など、尹政権の暴走はとどまるところを知らない。いまこそ民衆が団結し闘うときだ。11.11民衆総決起を成功させ、退陣闘争を一層前進させよう」と語った。

● 大阪で『朝鮮戦争・停戦70周年』訪韓団報告集会を開催…代表団の成果を共有



報告する金昌五副代表委員

日韓平和連帯は10月9日、大阪市内で「『朝鮮戦争・停戦70周年』訪韓団報告集会」を開催した。

7月22日に韓国・ソウルで開催した「停戦70年 朝鮮半島平和大会」の様子

と、大会に参加した訪韓団の活動をまとめた映像資料を上映。日韓平和連帯の西山直洋代表がスライドを通じて報告し、訪韓団の成果を共有した。

韓統連大阪本部の金昌五（キム・チャンオ）副代表委員が、最近の朝鮮半島をめぐる情勢について報告。金副代表は報告を通じ△米国で開かれた韓米日首脳会談を機に、韓米日軍事同盟構築に向け軍事協力がより強化された△9月の朝ロ首脳会談では両国が反帝国主義共同戦線（対米国）の構築を確認した△現在世界は米国の一極支配が終焉し、ブリックスで見られるように多極化へと進んでいることなどが報告され、私たちの課題として「歴史修正主義、日本

軍国主義復活に反対する闘いと韓日・朝日民衆の連帯運動強化が求められる」と語った。

訪韓団メンバーから「韓国民衆運動の力

強さを感じた」「世の中を変えようとする熱気が伝わってきた」などの感想が語られた。

●神奈川本部が情勢学習会を開催…李俊一総務部長が報告



報告する李俊一総務部長

韓統連神奈川本部は10月15日、川崎市内で情勢学習会を開催した。神奈川本部の文世賢（ムン・セヒョン）代表委員が主催者あいさつ。「この間神奈川地域の在日同胞と会うと、現在の祖国の情勢に対して心配と怒りの声が多く聞かれる。今日の学習会で現在の情勢をきちんと捉え、今後の運動を展望していこう」と語った。

中央本部の李俊一（イ・チュニル）総務

部長が報告。韓国の尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権について「グローバル・サウスの台頭や米国の国力低下によって、世界は多極化へと進んでいる。にも関わらず尹政権は米国に追従し、無謀な戦争挑発を繰り返すことで、朝鮮をはじめとした周辺国との関係を急激に悪化させている。危険極まりない政権だ」と批判。「野党や進歩民衆陣営に対する弾圧も厳しく、いまこそ尹錫悦退陣に向けて民衆が一丸となって闘うべきだ。11月1日に尹錫悦政権退陣運動本部が主催する民衆総決起の成功が、今後の退陣運動の趨勢に大きく左右する。私達も海外同胞として積極的に連帯していこう」と語った。

学習会後、尹政権退陣と11.11民衆総決起成功を訴えるプラカード・アピールを参加者全体で行った。

●モンダンヨンピルとの交流が活発に…活動を通じて相互理解を深める



記念撮影するモンダンヨンピルと韓統連、同友会のメンバー

昨年10月に開催された韓国からの招請事業「分断に立ち向かった人々」での出会いから、韓統連とモンダンヨンピル（朝鮮学校を支援する団体）との交流が活発に行われている。

今年6月3日、4日には、在日韓国良心囚同友会（同友会）とともに韓青が韓国からの招請行事「在日同胞との同行」に参

加。在日同胞良心囚のドキュメンタリー番組「スパイ」上映会では、韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長が、モンダンヨンピル会員に対し、在日同胞の現状を語った。

9月16日から18日には韓統連大阪本部と同友会が大阪と京都で「分断に立ち向かう人々—在日同胞と国内同胞との出会いの広場・2023」を開催。モンダンヨンピルのメンバーを招請し、統一マダン生野に参加しウトロ平和記念館を訪問。在日同胞の歴史や現状について学んだ。

10月14日から15日には、モンダンヨンピルが大阪で映画祭「ウリマル・ウリノレ・ウリハッキョ」を開催。韓統連は交流会にゲストとして招待され、交流を深めた。また、韓青の行事に日本滞在中のモンダンヨンピルメンバーが参加するなど、日常的な交流も行っている。今後も継続して連帯運動を展開していく予定だ。

プラカード・アピールにご協力ください



尹錫悦 (ユン・ソンニョル) 政権退陣、11.11 民衆総決起支持を訴えるメッセージ写真を募集しています。プラカードを掲げて写真を撮影し、下記アドレスまでご送信ください。写真は韓国の「尹錫悦政権退陣運動本部」に送ります。プラカードのデータはホームページからダウンロードしてください。

また、上記内容の宣伝ビラをホームページに掲載しています。合わせてご活用ください。

韓統連ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

プラカード・アピール写真送付先 chuo@korea-htr.org

행사에정 行事予定

10月

秋のフィールドワーク「松代大本営(長野)」(三重)

日時: 10月21日(土)～22日(日) 集合時間・場所: 午前8時30分 桑名駅 内容: 松代大本営フィールドワーク 参加費: 15,000円 主催: 韓統連三重本部 連絡先: 080-5112-6876 (チョン)

秋の野遊会(大阪)

日時: 10月29日(日) 午前11時～ 場所: 淀川河川公園 太子橋地区バーベキューエリア 参加費: 大人2500円 中・高校生1500円 小学生以下無料 主催: 韓統連大阪本部 連絡先: 090-3822-5723 (チェ)

11月

第14回ハナ・マダンあまがさき(兵庫)

日時: 11月5日(日) 午前11時～午後4時 場所: 尼崎中央公園 内容: ステージ(川口真由美 with ファンキーバンド、統一漫才カレコレ、子ども三味線、尼崎朝鮮初中級学校)、ワンコリアクイズ、統一ピビンバ試食、屋台、各団体のアピール 主催: ハナ・マダンあまがさき実行委員会 連絡先: 090-1242-3981 (イ)

韓統連広島セミナー2023(広島)

日時: 11月26日(日) 15時15分開場、15時30分開始 場所: 広島市まちづくり市民交流プラザ 内容: 「尹錫悦政権と朝鮮半島情勢」(講師—金昌五(キム・チャンオ) 韓統連大阪本部副代表委員) 参加費: 1000円 主催: 韓統連広島本部 連絡先: 090-3372-0993 (ユン)

編集後記

大阪で開催されたモンダンヨンピル映画祭に参加しました。昨年の招請事業で一緒だったメンバーとの再会もあり、楽しい時間を過ごしました。メンバーと話すたびに在日同胞に対しての関心と愛情の深さを感じ、とても心温まります。(李)